

他にも、このようなナシウル体があります。

((例 1)) 動詞本体 : +[ju-a] <知る>
+[ju:likan-a] <知りうる, 知られる>

((例 2)) 動詞本体 : +[on-a] <見る>
+[on:ekan-a] <見うる, 見える>

例 1 で, ‘:ikan-’ のシルシに ‘l’ が付いているのは, ヒキノバシの元の動詞本体 ‘+jua’ の尻尾の直前が母音になっているためです。

❖ .. ❖

◆ 動詞本体ヒキノバシのシルシの順序

動詞ヒキノバシのシルシは, 動詞本体 1 つにつき, 1 つとは限りません。複数のシルシが連なることもあります。第 3 課のスキットに, このような文が登場していました。覚えていますか?

N : Jana niliazima kitabu chake, kwa hivyo
nataka **kumrudishia**.
<昨日を借りたから, それを返したいんだよね。>

この ‘kumrudishia’ の動詞本体 ‘+rudishia’ には, ‘:ish-’ というナサス・ナサセル体のシルシと, ‘:i-’ というニ・デナス体のシルシが挿入されています。

動詞本体 : +[rud-i] <戻る>
+[rud:ish:i-a] <～に戻らせる, ～に返す>

シルシの連なる順序で決まっているのは, ウラガエシ体のシルシが最初に入ることと, ナサレル体のシルシが最後に入ることです。残りの部分の順序は, 意味により決まります。

▽ 動詞ヒキノバシのシルシの順序



... ❖